

KDC100/KDC200/KDC300
データコレクタ ユーザーマニュアル
簡易版



本書について

本書は基本的な操作をまとめた説明資料です。主に次の点について説明します。

- データコレクタとパソコンを接続する手順
- 蓄積したバーコードデータをパソコンに転送する手順

すべての機能については CD-ROM 収録のユーザーマニュアルをお読み下さい。

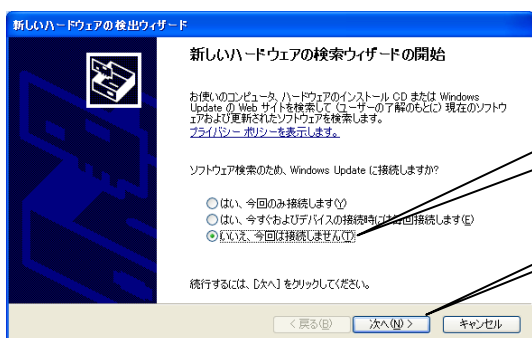
KDC Quick Guide 1.2
株式会社エイポック
<http://www.a-poc.co.jp/>
TEL:045-508-5201

第1章 データコレクタとパソコンの接続

1. 製品箱に CD-ROM が入っていることをご確認ください。
2. CD-ROM をパソコンにセットします。
3. データコレクタ（以下、KDC）とパソコンを、付属の USB ケーブルで接続します。

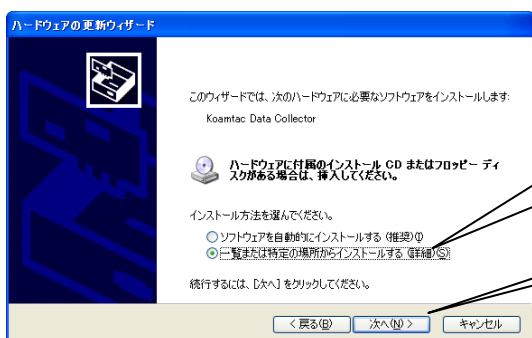
データコレクタは USB で充電します。充電時間は KDC100/200 が約 2 時間、KDC300 は約 4 時間かかります。ランプ（フロントパネル LED）の表示が緑色に点灯したら、充電完了です。充電が完了したら、パソコンからそのまま取り外してください。（パソコンの設定などは不要です）

4. パソコンが自動的に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」を開始します。
図の手順で進めてドライバをインストールしてください。



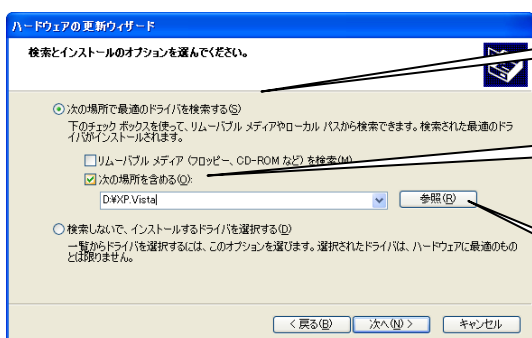
[いいえ、今回は接続しません]

[次へ]



[一覧または特定の場所からインストールする]

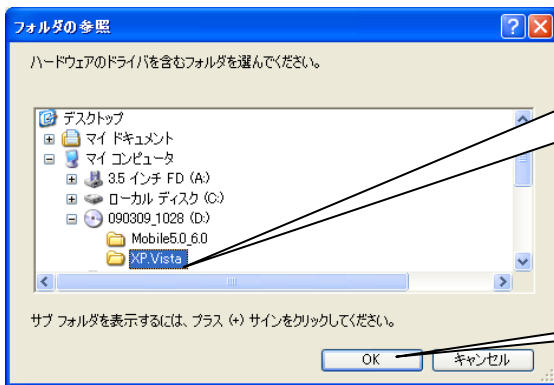
[次へ]



[次の場所で最適なドライバを検索する]

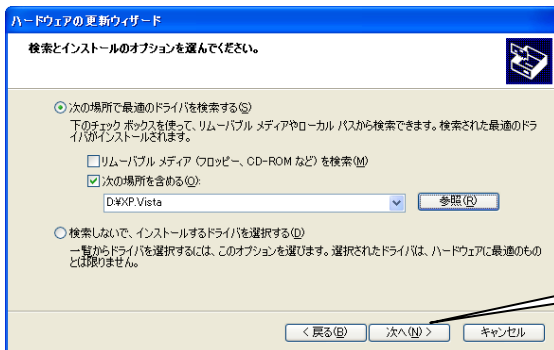
[次の場所を含める]

[参照]



[マイコンピュータ]の[+]をクリック、CD-ROM の[+]を選択、[XP.Vista]を選択

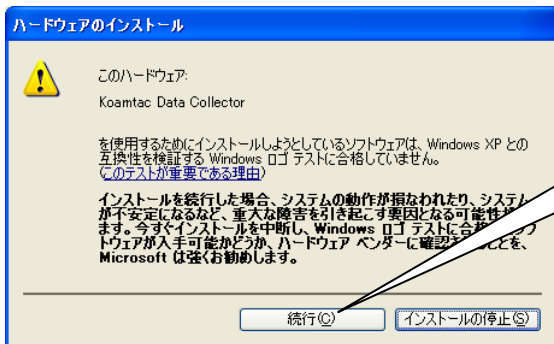
[OK]



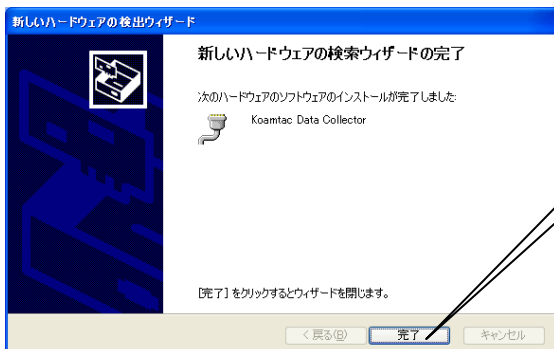
[次へ]



インストールを開始します

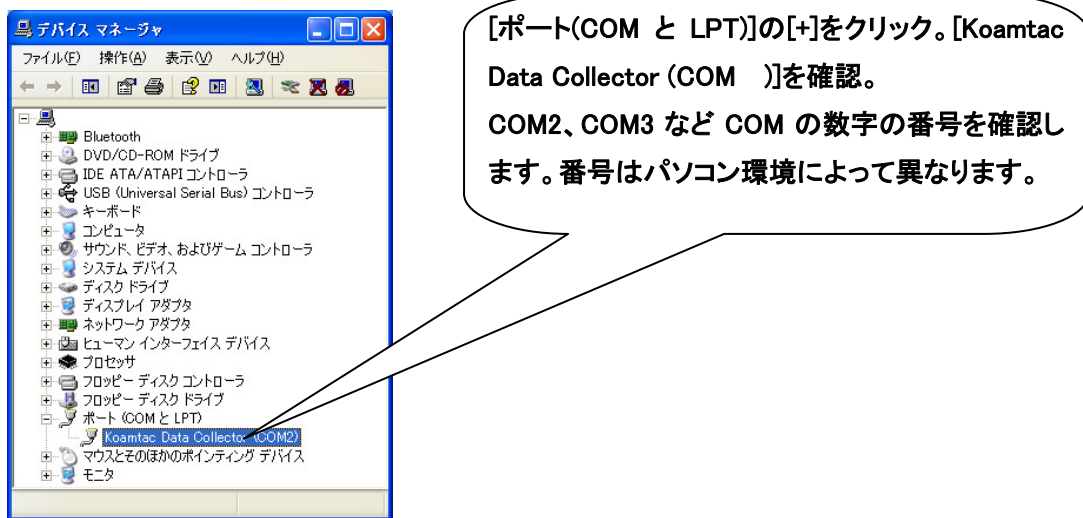
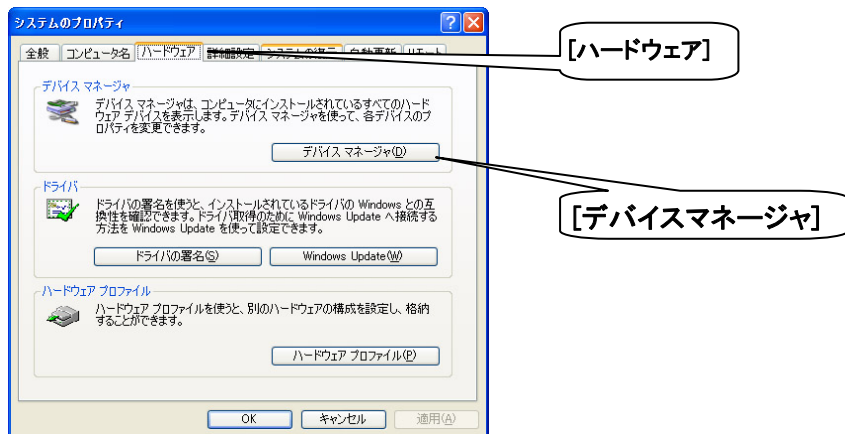
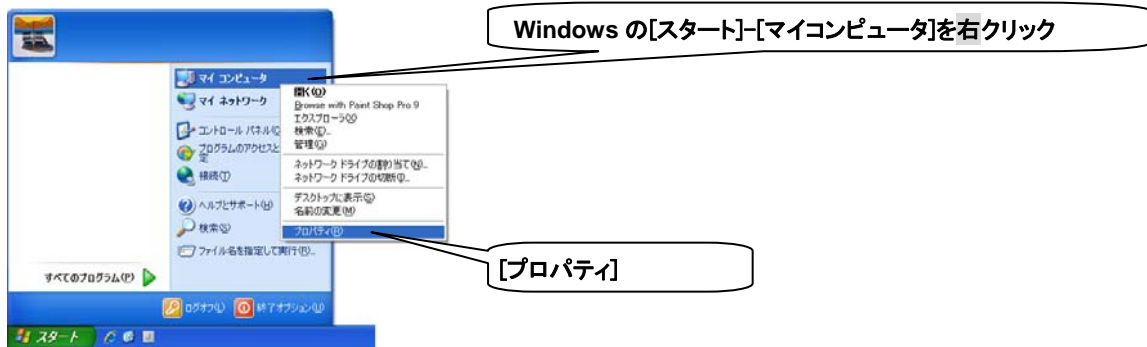


[続行] ※動作に問題ありません



[完了]

5. パソコンのデバイスマネージャを開き、KDCの「COM」番号を確認します。
図の手順で進めて確認してください。



第2章 転送ソフトKTSyncのセットアップ

ゲーティーンク

1.Version (バージョン)

本書では転送ソフト KTSync version 1.64 について説明します。最新バージョンは弊社ホームページからダウンロードしてご用意して下さい。

http://www.a-poc.co.jp/products/p_termnal/KDC100+KDC200.html#dl

バージョンは KTSync のメニューバーから[About]をクリックすると確認できます。

2.KTSync のインストール

CD-ROM のフォルダ[XP.Vista]ごと、パソコンのお好きな場所にコピーして貼り付けてください。

アンインストールするには

パソコンに貼り付けたフォルダごと削除してください。

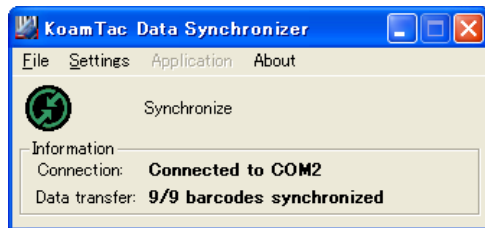
3.KTSync の実行

フォルダ[XP.Vista]内の[KTSync.exe]をダブルクリックして下さい。



Ktsync.exe

KTSync (KoamTac Data Synchronizer) のメイン画面が立ち上がります。





4.KTSync の終了

[File]-[Exit]をクリック、または[X]をクリックして下さい。

5.同期アイコン

メイン画面左側のアイコンは同期の状態を通知します。意味は下記の通りです。

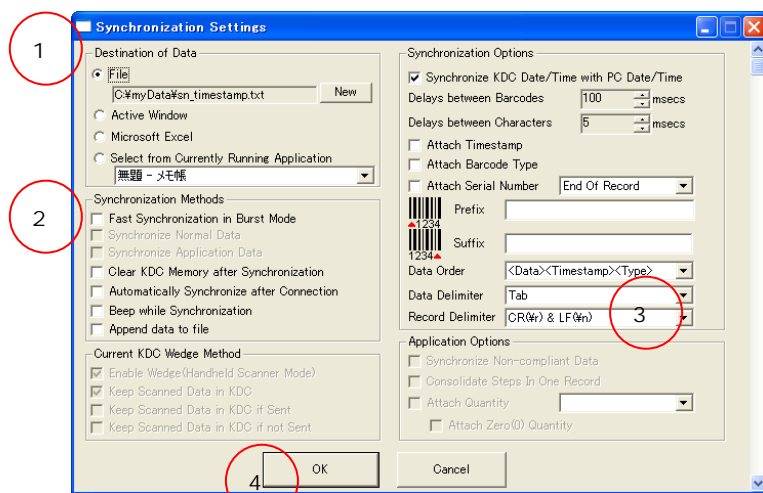
| | |
|---|--|
|  <p>緑色</p> | <p>KDC とパソコンが同期中です。KDC を USB または Bluetooth でパソコンと接続すると自動的に同期を行います。同期に成功するとアイコンは緑色になります。</p> <ul style="list-style-type: none">- 初期設定では、同期したら KDC に蓄積したバーコードデータをパソコンに自動で転送します。自動で転送しない設定もできます。- 同期中にアイコンをクリックすることで KDC に蓄積したデータを転送することが出来ます。 |
|  <p>灰色</p> | <p>KDC とパソコンが非同期中です。</p> <p>次のときは非同期中です。</p> <ul style="list-style-type: none">- KDC をパソコンと接続していないとき。- KDC をパソコンの USB から取り外すか Bluetooth を切断したとき。- 問題が発生し同期に失敗したとき。 |

5.KTSync の設定画面

KTSync メイン画面-[Settings]-[Synchronization]をクリックすると設定画面が開きます。

よく使う設定と意味は下記の通りです。詳細は CD-ROM 収録のユーザーガイドを参照して下さい。

(図は KTSync Version 1.64)



1. Select destination of data (データの転送先を選択)

- File : KDC に蓄積したデータをテキストファイルでパソコンに転送します。
- Active Window : KDC とパソコンが接続中、最前面のウィンドウに読み取りデータをキー入力します。
(注)蓄積したデータの転送は行えません。
- Microsoft Excel : Excel にデータを転送します。Excel のカーソルがある場所から転送します。
- Select from currently running application : 立ち上がっているアプリケーションの中から選択したアプリケーションにデータを転送します。

2. Select synchronization methods (同期方法の選択)

- Fast synchronization~: チェックを入れると高速で転送します(通常は使用しないでください)
- Clear KDC memory after synchronization :
チェックを入れる:データを転送した後、KDC の蓄積データを消去します
チェックを外す:データを転送した後、KDC の蓄積データを消去しないで残します
- Automatically synchronize after connection:

- チェックを入れる:KDC をパソコンに接続して同期したら、自動ですぐデータを転送します。
- チェックを外す:KDC をパソコンに接続して同期してもデータを転送しません。

KTSync のメイン画面のアイコン  をクリックするとデータを転送します。

- Beep while synchronization : チェックを入れるとデータを転送中に KDC のブザーを鳴らします。
- Append data to file:

- データの転送先を File に設定し、ファイル名をユーザー自身で入力したときのオプション設定です。
- チェックを入れる:ファイルでデータを転送するとき、指定したファイルにデータを追加します。
- チェックを外す: ファイルでデータを転送するとき、指定したファイルにデータを上書きします。

3. Select Synchronization Options (同期のオプション選択)

- Record delimiter : データの改行設定です。
CR(␣) : 開いている画面にデータ転送する場合に設定してください。
CR(␣) & LF (␣n) : ファイル形式でデータ転送する場合に設定してください。

4. **OK ,Cancel**

- OK：設定を保存して設定画面を閉じます。

- Cancel：設定を保存しないで設定画面を閉じます。

(注) 設定画面右上の X をクリックすると設定を保存しないで設定画面を閉じます。

第3章 バーコードを読み取る

バーコードの読み取り方

スキャンボタンを押すと、読み取り光源のレーザー（KDC100/200）または照準光(KDC300)が点灯します。読み取り光源をバーコードにかざすとバーコードを読み取ります。お手元のバーコードを読み取ってお試しください。

ご注意

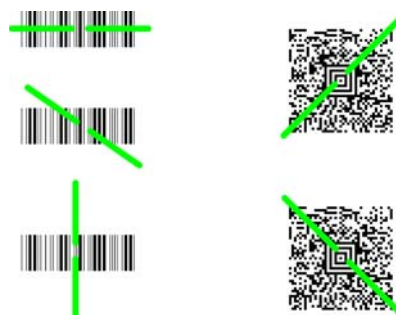
はじめてお試しになるときは、KDC をパソコンから取り外してください。設定によってはそのままパソコンにデータを転送するためです。

KDC100、KDC200



KDC300

バーコード 2次元バーコード



KDC100/200 は水平方向に投光する**赤いレーザー光**を持っています。レーザー光はバーコードに対し水平方向で読み取ります。また、左右からはみでるように投光してください。

KDC300 は水平方向に対応する明るい**緑色の照準光**と、**赤い照明光**を持っています。照準光はバーコードの中心ねらってください。照準光はどの方向に向けても読み取ります。

読み取り成功時

フロントパネルLEDが緑点灯しブザーが1回鳴りディスプレイに読み取ったデータを表示します。

読み取り失敗時

フロントパネルLEDが赤点灯しブザーが2回鳴りディスプレイに「Failed reading…」と表示します。

読み取りに失敗したときは

- ・レーザー光、照準光がバーコードに当たっているか確認してください。
- ・バーコードとKDCの距離と角度を変えてみてください。
- ・システムメニューで読み取ったバーコードの体系が読み取り可能か確認してください。
- ・バーコードの印字品質を確認してください。

メモ 表示した文字がすぐ消えないように設定するには

バーコードを読み取った後、表示した文字は5秒で消えます。表示した文字がすぐに消えないようにするには、KDC本体の「Sleep Timeout」の設定を下記の手順で変更してください。

- 1.KDCのサイドボタン2つを同時に押し、システムメニューを表示します。
2. System > Sleep Timeout > 5 second(s) (5秒)の時間を長く変更 > Save & Exit > Top Menu > Exit Menu
(システムメニュー中はサイドボタンでカーソルを移動し、スキャンボタンで決定します)

ご注意 バッテリーの消耗について

Sleep Timeoutの時間を長くするほど、バッテリーの消耗が早くなります。

第 4 章 Excel(エクセル)にバーコードデータを転送する

本章では KDC に蓄積したバーコードデータを Excel(エクセル)に転送する方法をご説明します。

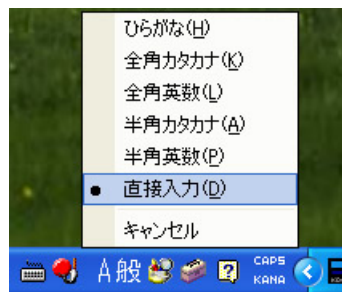
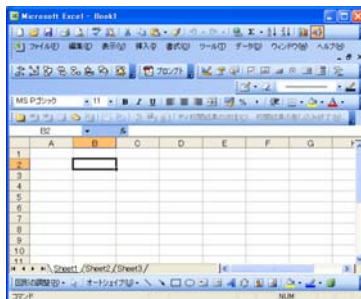
1.KTSync の設定画面であらかじめ次の設定を行って下さい。

- Microsoft Excel に**チェック**を入れる
- Fast synchronization～および Automatically synchronize after connection の**チェックを外す**
- Record delimiter を **CR(␣)**に設定する

設定したら、OK をクリックして KTSync のメイン画面に戻ります。

2.Excel を立ち上げ、データ入力を開始するセルにカーソルを合わせて下さい。

- セルを右クリックし、[セルの書式設定]-[表示形式]-[文字列]を設定してください。これで Excel に数字を 12 文字以上入力するとき「E+12・・・」などと表示することを防ぎます。
- IME バーを[直接入力]に設定してください。その他のモードでは正しく入力しません。



3.KDC を USB または Bluetooth でパソコンと接続します。

4. KTSync を立ち上げて下さい。

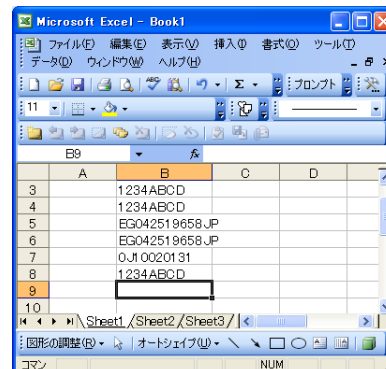
タスクバーに最小化している場合はクリックして前面に表示してください。

5.アイコン をクリックしてください。

KDCは蓄積したデータを Excel に転送します。Excel が KTSync の背面に隠れていても、自動的に Excel に切り替わってデータを転送します。

6.転送が終了したら、KDC をパソコンから取り外して下さい。

KTSync は終了せず、そのままはずしてかまいません。



ご注意 Excel が立ち上がっていないとき

KTSync の設定画面で Microsoft Excel にチェックを入れた設定

では、Excel が立ち上がっていないときに同期を行うと、自動的に Excel を立ち上げて新規シートの A1 セルからデータを転送します。しかし、セルの書式設定が行われていないため 12 文字以上の数字データは E+12 などの表示になります。これは Excel の仕様です。

KDC をバーコードリーダーとして使う

本章の設定を行い、KDC をパソコンと接続中にバーコードを読み取ると、KDC はケーブル接続のバーコードリーダーのようにデータを 1 件ずつ Excel のセルにキー入力します。

なおかつ、出荷時設定では、Excel へデータを入力するのと同時に蓄積も行います。接続中は蓄積しないようにするには、KDC 本体の設定を下記の手順で変更してください。

- 1.KDC のサイドボタン 2 つを同時に押し、システムメニューを表示します。
2. Data Process > Wedge/Store > W&S If Not Sent > Save & Exit > Top Menu > Exit Menu
(システムメニュー中はサイドボタンでカーソルを移動し、スキャンボタンで決定します)

第5章 テキストファイルにバーコードデータを転送する

本章では KDC に蓄積したバーコードデータをテキストファイルに転送する方法をご説明します。

1.KTSync の設定画面であらかじめ次の設定を行って下さい。

- File にチェックを入れる
- Fast synchronization～および Automatically synchronize after connection のチェックを外す
- Record delimiter を CR(␣) & LF(␣n)に設定する

設定したら、OK をクリックして KTSync のメイン画面に戻ります。

2. KDC を USB または Bluetooth でパソコンと接続します。

3. KTSync を立ち上げて下さい。

タスクバーに最小化している場合はクリックして前面に表示してください。

4.アイコン をクリックしてください。

KDC は蓄積したデータをテキストファイルに転送します。

5.転送が終了したら、KDC をパソコンから取り外して下さい。

KTSync は終了せず、そのままはずしてかまいません。



ファイルの転送先

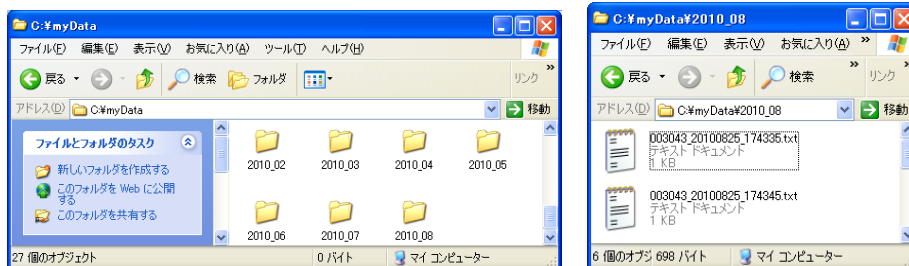
初期設定のファイルの転送先は自動で作成されるフォルダ C:\MyData の中です。

MyData 内に年月の名前でフォルダが自動で作成されます。

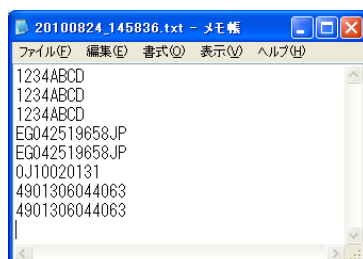
年月フォルダの中にシリアルナンバー_タイムスタンプの名前でテキストファイルが作成されます。

(注)KTSyn の旧バージョンはタイムスタンプの名前でテキストファイルが作成されます。

タイムスタンプは転送時の時刻となります。



ファイルを開いた例図



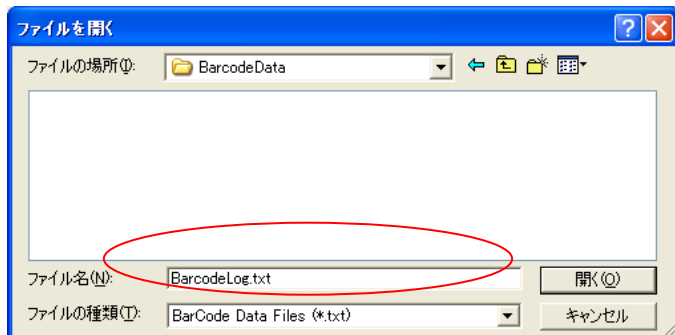
メモ 接続するだけで転送するには

KTSync の設定画面で Automatically synchronize after connection にチェックを入れると、KTSync が立ち上がっているときに KDC をパソコンに接続するだけでデータを転送します。(上記 4.の手順が省略されます。)

ファイルの転送先をユーザー自身で指定する

- 1.KTSync の設定画面を開き[File]にチェックを入れる。
- 2.[New]をクリックし、転送先のフォルダを指定する。
- 3.[ファイル名]にファイル名をキーボードで入力する。

または、既存のテキストファイル(拡張子.txt)を選択する。



- 4.[開く]をクリックする。
- 5.設定画面の[OK]をクリックして設定画面を閉じる。

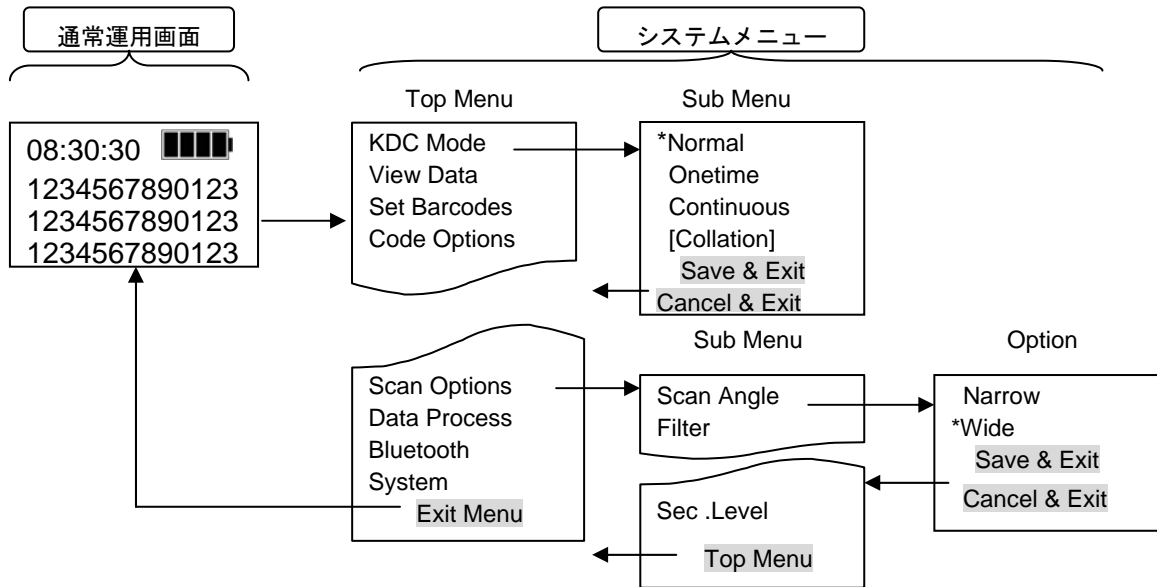
ファイル転送時の上書きと追加

ファイルの転送先をユーザー自身で指定した場合、初期設定ではファイルの転送を行うと、データを上書きします(既存データは消去されます)。既存データに追加して転送するには KTSync の設定画面で次の設定を行ってください。

- 1.KTSync を立ち上げる
- 2.Sttings > Synchronization > Append to file にチェックを入れる > OK

第6章 システムメニュー

システムメニュー画面の概要図 (注) KDC100、KDC200 のメニューです。



システムメニューに切り替える

KDC本体のサイドアップボタンとサイドダウンボタン（側面の2つのボタン）を同時に押すとシステムメニューに切り替わります。システムメニューでは、各種設定が行えます。システムメニューに入った直後のメニュー画面をTop Menuと呼びます。

システムメニュー中の操作

サイドボタンでカーソルを移動し、画面をスクロールしてメニューを選択し、スキャンボタンで決定します。Top Menuから入ったメニュー画面をSub Menuと呼びます。Sub Menuからは、設定によってはOptionの画面に入る場合もあります。

通常運用画面に戻る

Exit Menuを選択してスキャンボタンを押すと、通常運用画面に戻ります。Exit Menuが見当たらない場合は、「Save & Exit（設定を保存して戻る）」「Cancel & Exit（設定をキャンセルして戻る）」または「Top Menu」を選択し、Top Menuまで戻ります。最後にExit Menuを選択すると、通常運用画面に戻ります。

システムメニュー中の表示と意味

カーソル位置がハイライトで表示され、現在設定されている項目に「*」が表示されます。

設定の保存とキャンセル

各種メニュー中のSave & Exitが設定を保存します。Cancel & Exitは設定をキャンセルします。また、直前のメニューに戻ります。

(注)システムメニュー中はオートパワーオフ機能がききません。バッテリーの低下に注意してください。System-Auto Exitの設定により、5分後にシステムメニューから抜けて通常運用画面に戻る設定ができます。

第7章 照合

機種と設定方法

KDC100、KDC200 は本体のシステムメニューから KDC の動作モードを照合アプリケーションに設定します。KDC300 はパソコンにインストールした KTSync から照合アプリケーションを設定します。本章では KDC100、KDC200 についてご説明します。KDC300 の設定については CD-ROM の説明書をお読み下さい。

KDC100、KDC200 を照合モードに変更する方法

KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押し、システムメニューに切り替えて、KDC Mode を選択します。ディスプレイが次のメニューを表示します。

Normal - 通常読み取り。

Onetime -1 対 1 の逐次照合です。

Continuous -1 対 n の複数照合です。

[Collation] -Onetime および Continuous の抜き出し照合オプションです。

照合を行うには Onetime または Continuous を選択し、Save &Exit でシステムメニューを抜けてください。Collation はオプション機能ですので、必要なときにのみ設定してください。

設定の説明

- Onetime

1 対 1 の照合モード。1 つのマスターバーコードに対し、1 つのバーコードを照合し同一データか否か照合することができます。

- Continuous

1 対 n (複数) の照合モード。1 つのマスターバーコードに対し、複数のバーコードを照合し同一データか否か照合することができます。

- Collation

- Master start position : マスターバーコードの照合開始桁です。範囲は 1 から 36 までです。

- Slave start position : 比較する対象の照合開始桁です。範囲は 1 から 36 までです。

- Number of characters :照合する桁数です。範囲は 0 から 36 までです。

0 に設定した場合全桁照合になり抜き出し照合は行いません。

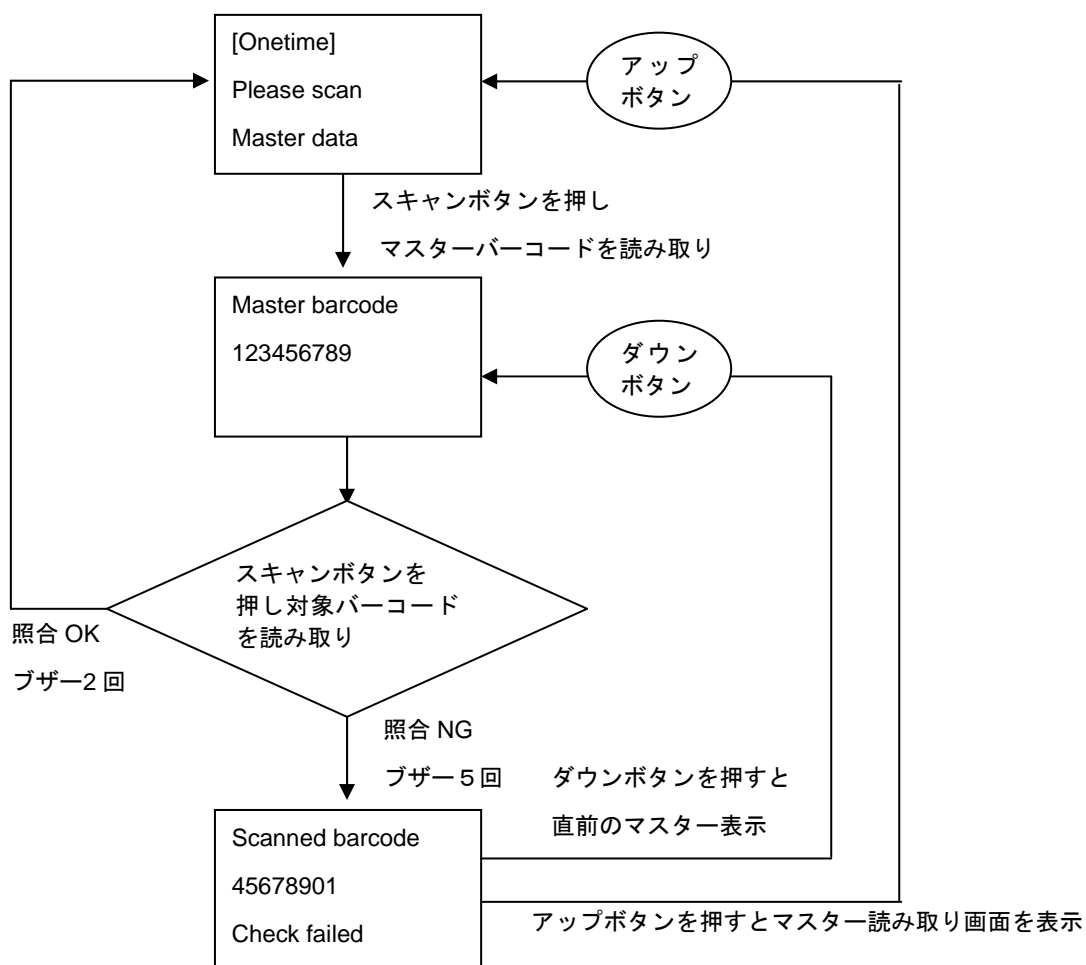
Collation (抜き出し照合) の例



この場合照合元および照合先の 123456 部分だけを抜き出し照合し
上記の例の場合は照合 OK となります。

ディスプレイ表示 - Onetime

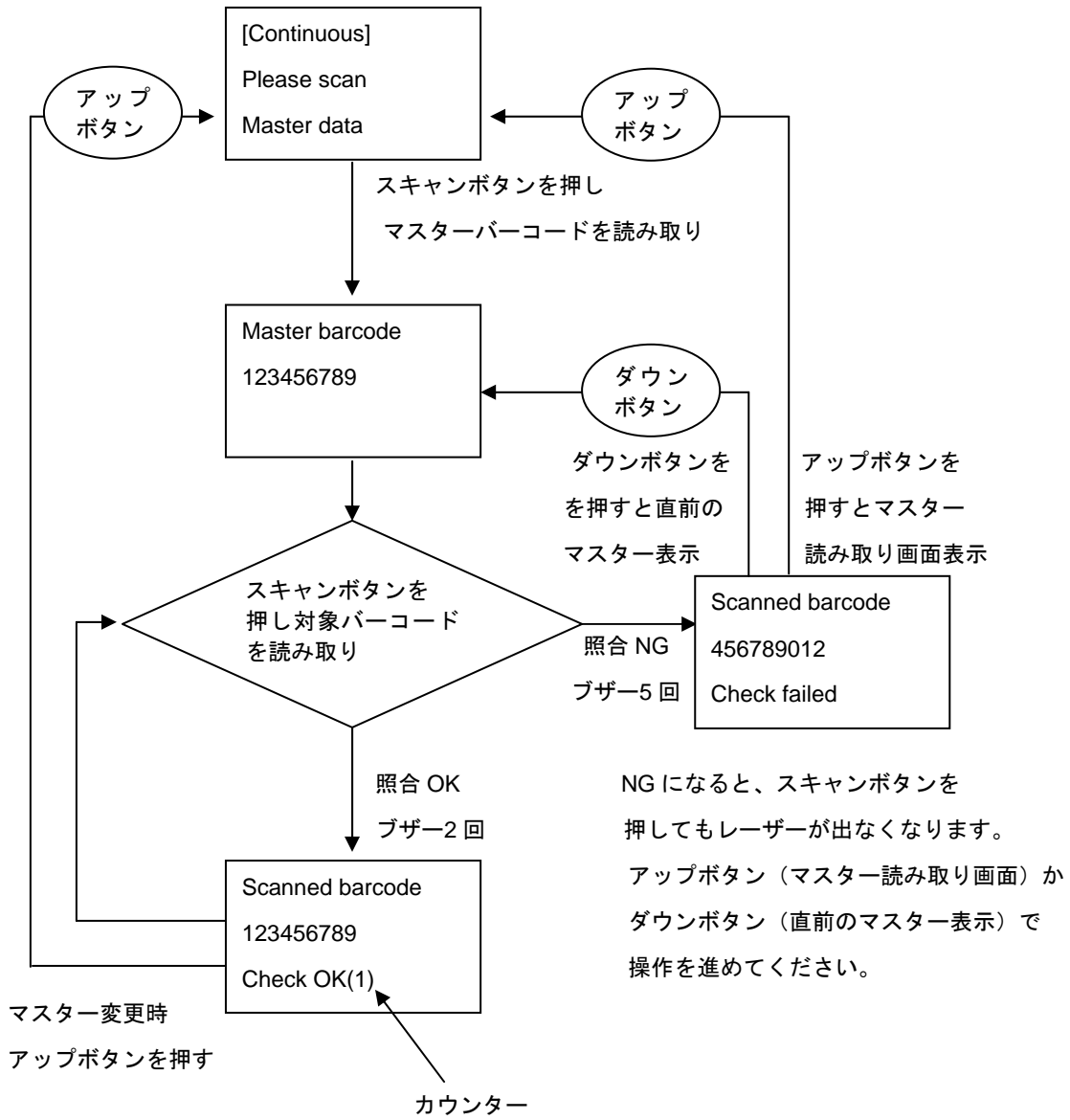
画面遷移のフローチャート



NGになると、スキャンボタンを
押してもレーザーが出なくなります。
アップボタン（マスター読み取り画面）か
ダウンボタン（直前のマスター表示）で操作を進めてください。

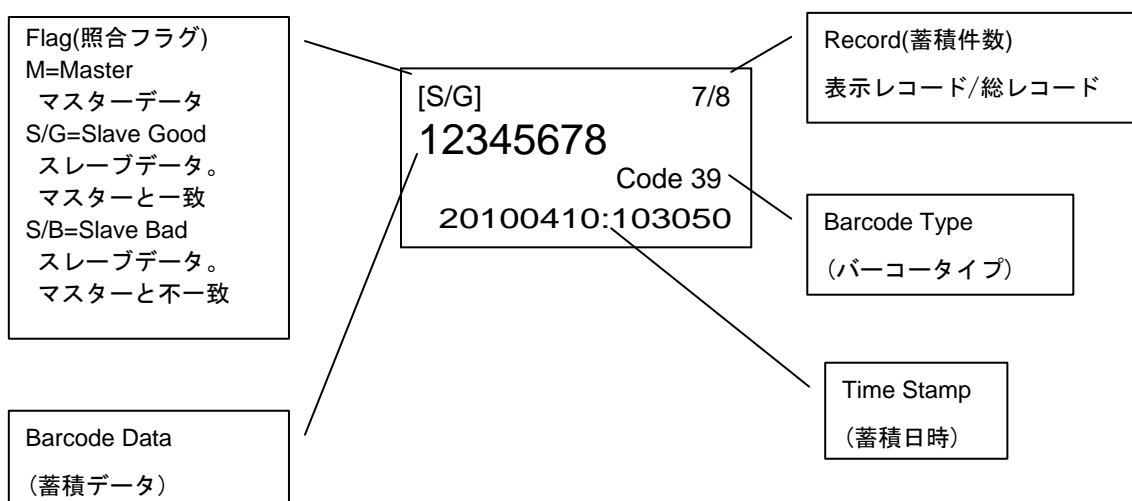
ディスプレイ表示 - Continuous

画面遷移のフローチャート



ディスプレイ表示 - Onetime、Continuous の View Data

システムメニューの View Data に入ると、蓄積データを下記のように表示します。



- ・ サイドアップボタンとサイドダウンボタンで蓄積データの表示レコードを変更します。
- ・ スキャンボタンで Delete(消去)か Cancel(キャンセル)を決定します。

メモ：照合モードの蓄積データの転送について

標準の転送ソフト「KTSync」のデータ転送では、照合結果が OK か NG かの判別できません。

弊社が提供している追加ソフト「KDCatcher」では、照合結果のフラグを転送することができ、OK か NG かを確認できます（照合フラグは 11、12、などの数値となります）。詳細は弊社提供の CD-ROM に収録している KDCatcher の説明書および KDCatcher インストールフォルダ内の資料をお読み下さい。

第 8 章 トラブル対策

うまく動作しない場合は下記の表をご覧ください、対策を実施してください。

| 症状 | 原因 | 対策 |
|---|--|---|
| KTSync が同期中にならない | COM 番号が間違っている | パソコンのデバイスマネージャで COM 番号を確認し、KTSync の File-Connect で同じ COM 番号を選択してください。 |
| | はじめてパソコンに接続した USB と異なる USB に接続した | パソコンにはじめて接続した USB に接続しなおしてください。一度接続したパソコンでも、他の USB コネクタに接続すると再度ドライバをハードディスクから読み込みインストールを行い、他の COM 番号が割り当てられます。ドライバがインストールするまで待って、再度接続しなおしてください。なお、COM 番号が変わっても KTSync は自動で接続可能な COM 番号を検索します。 |
| データを転送しない | KTSync が立ち上がっていない | KTSync を立ち上げてください。 |
| | KTSync の設定画面で X をクリックした。 | X をクリックして設定画面を閉じると、設定は保存されずキャンセルします。設定を有効にするには OK をクリックして閉じてください。 |
| | データコレクタがシステムメニューになっている | データコレクタの画面をスクロールし、Exit Menu でシステム画面から抜けてください。 |
| Excel へ転送時、データがセルごとに区切られず、つながって出る | パソコンのキーボード入力モードが直接入力になっていない。ローマ字入力などになっている | パソコンの IME バーの設定で[直接入力]に設定してください |
| | | または、次のエクセルの設定で制御してください。 [メニューバー]-[データ]-[入力規則]-[データの入力規則]-[日本語入力]-コンボボックスからオフまたは無効を選択する |
| | パソコンの処理速度がデータ転送速度より遅く、区切りキーの入力抜けが発生する | KTSync の設定画面を開きます。 [Delays between barcodes]の数値 150～など大きくして下さい。設定したら OK をクリックして設定画面を閉じます。 |
| KDC Mode で Normal から照合モード (Onetime/Continuous) に切り替わらない | KDC を USB ケーブルまたは Bluetooth でパソコンと接続 (同期) している | KDC から USB ケーブルを取り外すか Bluetooth を切断してください。 |